

## 新・松本市立博物館（基幹博物館）に関する第2回サウンディング型市場調査の対話結果

### 1 実施経過

○実施要綱の公表：令和4年3月11日（金）

○調査の申込：令和4年3月11日（金）～3月25日（金）

○提案書の提出期間

公募条件：令和4年3月28日（月）～4月1日（金）

詳細積算：令和4年5月11日（水）～5月17日（火）

○調査の実施【3団体】

公募条件：令和4年4月5日（火）・4月7日（木）

詳細積算：令和4年5月24日（火）・25日（水）・27日（金）

### 2 調査内容

令和5年度に開館を予定している、新・松本市立博物館への指定管理者制度導入にあたり、民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて公募に関する諸条件を整理するため第2回サウンディング型市場調査を実施しました。

### 3 参加者からの意見・提案の概要

<b>1 対象施設について考えられる優位性や潜在的可能性について</b>
○歴史や伝統と観光を連動させることで、潜在的なポテンシャルを発揮できる。 ○松本駅から松本城・旧開智学校のエリアには人の回遊性があるので、他自治体の博物館施設よりも多数の来館者が見込める。
<b>2 公募条件（案）に対する意見・提案</b>
○新設の施設であるため、適正な光熱水費を見積もることは難しい。精算項目としてもらうことで多くの事業者が参入できる。 ○公募条件（案）では、「連帯保証人を立てること」とあるが、実際には難しく現実的でないと感じる。免除規定があるので、参入する事業者はある程度あると思われるが、公募条件（案）の「連帯保証人」の記載内容について検証をお願いする。
<b>3 複数の分館をまとめた指定管理者による一体管理について</b>
○一体管理によって、広報連携がしやすくなる。 ○スタッフの確保などでスケールメリットが発揮できる。 ○管理する施設が多く、施設の特性が多岐にわたる場合は事業規模が大きくなるため、競争が働きにくくなることが想定される。
<b>4 管理運営に係る収支の詳細積算・開館準備業務に係る収支の詳細積算</b>
○指定管理期間の支出概算における光熱水費は、参加者間でばらつきがあった。 ○開館準備業務委託の予算については、松本市が想定している予算が妥当かどうか、仕様を含めて検証が必要。

○特別展のスタッフ配置は規模・内容によって配置人員が異なるため、別に予算化する方が柔軟な対応が可能。

#### 5 対象施設の1階を活用した自主事業について

- ショップ・カフェの活用について、各参加者から独自アイデアによる提案があった。
- ショップ・カフェの運営以外の自主事業については、各参加者から独自のアイデア・ノウハウによりワークショップや市民向け講座などの提案があった。

#### 4 今後の予定

松本市立博物館への指定管理者制度導入へ向け、今回のサウンディング型市場調査の結果を活用して諸条件の整理をしていきます。